

環境振動運営委員会 議事録

- A. 日時 2012年7月2日 月曜日 17:30～19:30
- B. 場所 建築学会会議室
- C. 出席者 主査, 他 11名
- D. 提出資料
 - No.2-1 前回議事録案
 - No.2-2 環境振動評価小委員会活動報告
 - No.2-3 環境振動広報WG
 - No.2-4 居住性能評価指針検討WG (環境振動評価小委員会評価WT)
 - No.2-5 環境振動シンポジウム企画WG
 - No.2-6 環境振動測定分析小委員会活動報告
- E. 議事内容

O. 前回議事録確認 (資料No.2-1)

- ・ 1. 学会賞は → 学会大賞は
上記修正を行うことで, 了承された.

1. 環境工学本委員会報告

○2012年度第5回環境工学委員会 2012年5月23日開催

- ・ 学術推進委員会
 - 竹中育英会研究助成候補応募件数 環境工学本年度12件
 - 鹿島学術振興財団研究助成 環境工学本年度1件
- ・ 2013年度日本建築学会大会は北海道大学 8・30～9・01 3日間.
- ・ 2011年度小委員会活動成果報告 HP上に掲載.
<http://news-sv.aij.or.jp/academic/seika/11seika/index.htm>
- ・ 2012年度情報保障に関する費用支援 手話通訳費10万円.
- ・ 東日本大震災関連
 - ①シンポジウム「東日本大震災からの教訓」報告
 - ②東日本大震災調査報告書編集委員の推薦 → 芝浦工大村上先生
 - ③建築雑誌に報告書の英語版を刊行する.
- ・ 2012年度大会 6779題中1285題 (環境工学)
 - ①学会賞2名, 教育賞1名の記念講演が開催される
- ・ 2009～2011年度調査研究委員会活動報告評価
 - ①企業の委員が少ない. 大学以外の委員はきわめて少ない.
 - ②テーマが細分化されすぎている. もう少し横断的に.
 - ③震災対応の3つのWGが迅速に発足された. 震災に対応した節電, 省エネの活動・提案がなされた.
- ・ AIJデジタルライブラリの公開方針
 - ①公開方法 → 時期, 全文公開など選択肢がある

②既存コンテンツ → 2012年度大会から無料，それ以前のは有料

- ・ 建築雑誌7月号から大会関連記事は載せない → HP参照
- ・ 2012年度大会 研究協議会「エネルギーとライフスタイルのあり方」，研究懇談会「節電から考えるこれからの建築」，懇親会「名鉄グランドホテル」。
- ・ 原発，省エネルギー関係のWG設立 → 2014年に叢書の刊行。
- ・ 「住まいづくり支援運営委員会」 → 福田先生（北九州市立大学）継続。
- ・ AIJES総則の改定のフローが変わった。 → 5年毎に改定

①大改訂 新規ESと同じフロー

②小改訂 所属の運営委員会を相談し省略できるフローは省略。文書で残す。

③講習会をシンポジウムに代えられるかは個別に本委員会に諮る。

- ・ 刊行物の絶版処置 → 4冊
- ・ 次年度の研究集会 研究協議会を北海道支部に依頼，次回の本委員会までに案提出
- ・ 環境工学者名簿の作成が計画されている。

2. 各小委員会・WG活動報告

2-1. 評価小委員会（資料No.2-2）

- ・ 05/28開催分について，資料に基づく報告があった。

・ 「評価WT」

評価の在り方，評価指針に関する意見交換，関連資料の収集を実施

活動目標 ①関連資料の整理，評価方法の知見を得る，②指針，評価の枠組みを構築する。

・ 「説明性WT」環境振動を表す指標の“見える化”，問題の抽出と問題解決の糸口

活動目標 ①見える化の表現方法の更新，②振動に対する意識

・ 「広域実測WT」ワイヤレスセンサーネットワークの論文報告，センサーは安価である，鉄道などの加振力の大きなものは計測が容易，環境省が興味を持っている。

・ 「データベースWT」某工場での予測と実測の例を提示した。

・ 今期は環境振動シンポジウムの報告を目指し活動する。

2-2. 広報WG（資料No.2-3）

・ 「戸建住宅における環境振動対策事例報告書」，「長周期地震動」をHPに掲載予定。

2-3. 居住性能評価指針検討WG（資料No.2-4）

・ 05/11開催分について，報告があった。

・ 環境振動評価小委員会評価WTと合同で開催。

・ 意見として，①振動の特性に依らずに人間の感覚を評価できれば，加振源ごとの評価方法を定めなくともよい，②既往の研究のマッピングを検討する，③マップに用いる軸は振動数，振幅，継続時間など多軸となる。

2-4. 測定分析小委員会（資料No.2-5）

・ 05/10開催分について，報告があった。

・ 環境振動測定方法に関するアンケートについてエクセル版を配布する。

→ 回答数が少ない，再度各小委員会，WGに回答をお願いしたい。

・ JR武蔵境駅沿線実測について，建築学会大会に2編投稿，「音響技術」にも投稿予定。

2-5. 戸建て住宅の三成分振動特性測定・評価WG

- ・「戸建て住宅における環境振動対策事例報告書」2012年3月環境振動対策事例検討SWGを建築学会のHP上に掲載。25事例を掲載。
 - 100ページを超す資料で読むのが大変である。マトリックスをクリックすることで当該ページに飛べないか。
 - 事例だけ見るのでは全体が分からないのでは。
 - 載せた苦情の内容はどのようなものか。苦情だけでなく現象も入れて欲しい。
 - データはあるが出せるものが少ない。
 - 環境振動を一般の人にも判りやすく見せてほしい。

2-6. 制御委員会

- ・06/21開催分について、報告があった。
- ・今後の進め方の確認を行った。実案件のモデル化による検討、RC造で合わなかったモデル化の取りまとめの実施。

3. 「環境振動シンポジウム企画WG」（資料No.2-6）

- ・06/22開催分について、報告があった。
 - ・添付資料を参照のこと。
 - ・仮題「都市と人と環境振動のつながり」他
 - ・基調講演「スカイツリー（六三四）と環境振動」伊積委員が東武鉄道に打診
 - ・講演内容仮案
 - ①広域計測の展望 濱本委員
 - ②武蔵境駅付近の住宅の研究報告 後藤研究室
 - ③環境省 振動マニュアル（振動の見える化、外部加振力（自動車振動））
 - ④家屋内振動の実例 小林理研：平尾氏
 - ⑤ランダム振動（実振動）での評価・設計指針 石川委員，松本委員
- ⑤は課題が大きすぎる 別の機会に取り上げる

5. その他

一年間開催予定

- 1回目 2012年04月16日（月） 17：30～20:00
2012年06月22日（金）環境振動シンポジウム企画検討WG
- 2回目 2012年07月02日（月） 17：30～19:30
- 3回目 2012年09月24日（月） 17：30～
- 4回目 2012年11月26日（月） 17：30～
- 5回目 2013年01月25日（金） 10：30～
同日 第31回環境振動シンポジウム 13：00～

以上